

はまだ議会だより mini

浜田高校PBLへ参加

6月8日に、浜田高校2年生HIRAKU PBL（課題解決型学習）「地域の情報を得る」へ3人の議員が参加しました。これは、浜田高校で行われている総合的な探究の時間で、地域に目を向け地域の課題解決に主体的に取り組む活動です。

3回に分けて計14人に対し、議会活動などの紹介後、生徒からの質問に答えることを主に対応しました。地域の課題は何か、議員のやりがいは何か、議員に若者が少ないのはなぜか、など多様な質問が出ました。限られた時間で十分な対応ができたか分かりませんが、真剣な姿に期待できました。議会としては広報不足が認識できたことが、得るところでした。（議会広報広聴委員会）



議員のつぶやき

“日脚の海に夏が来た”



私の夏の過ごし方は海で泳ぐ。ひたすら泳ぐ。子どもの頃の楽しかった海での原体験を、今も飽きずに満喫しています。海水ならではの浮遊感を全身に感じつつ、自然と一体になって泳ぐのが至上の喜びです。皆さんも浜田の海を楽しんでください。

（肥後孝俊）

担当地域から専門分野へ

令和3年4月から制度化された、6人のまちづくりコーディネーターとの意見交換を行いました。当日は、コーディネーターと委員とが話しやすいよう2グループ構成で、各コーディネーターへのインタビュー方式で行いました。

1年目の戸惑いや担当地域の取組を伺い、2年目は担当地域ではなく、専門分野を生かした活動に移行し、6人がチームとしての活動計画を設定され、取組むようです。「協働」と「まちづくり」がまだまだ行政や市民に浸透していない課題はありますが、議会とコーディネーターは今後も互いに連携し、このような機会を重ねることとしました。（協働のまちづくり推進特別委員会）



議長 7/15～ 日誌 各地域協議会との意見交換会

今年も各地域協議会との意見交換会を行っています。ワークショップ形式の地域井戸端会はコロナ禍で開催を見送っていますが、広聴機能を低下させないよう取組みます。どこの地域協議会でも「人口減少」がテーマにあり、執行部と地域の課題意識が同じであるとうかがえます。



浜田市議会はSDGsを推進しています。